

教科目名 美術 (Fine Art)

学科名・学年 : 全工学科 1 年 (教育プログラム 第 1 学年 一般科目)

単位数など : 必修 1 単位 (前期 1 コマ, 授業時間 19.5 時間)

担当教員 : 足利桂子

授業の概要			
人間には、美的感性にあふれた創意と、それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている。自らの手を通し考え、想像し、感動を持ち創り出す活動の中で、全人的な想像力や感性を高めることを目標とする。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 表現(描く作る)することを中心に、表現の喜びを知る。 (2) 上手い下手ではなく、自己の持つ独創的なセンス、創意性を発見し具現化しようと試みる。 (3) 美術に親しみ、愛する心を身につける。			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	第 1 章 形の表現 1.1 牛骨のある静物デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 対象を描くことができる 明暗(陰影)を付けることができる 対象を見つめ完成することができる 	課題① 自己評価表
課題①提出			課題の点数
2	1.2 透視図法 ・ 一点透視図法と二点透視図法	<ul style="list-style-type: none"> 一点透視、二点透視図法を理解し、立体が描ける 斜面、曲面のある立体が描ける 陰影を付けて立体感をだすことができる 	課題② 自己評価表
課題②			課題②の点数
3	1.3 一点透視図法を使った立体的な空間表現(陰影、斜面、曲面含)	<ul style="list-style-type: none"> 正しい透視図法ができ陰影、斜面、曲面を入れることができる 創造的な形の工夫ができる 	課題③ 自己評価表
4			課題④
5			自己評価表
6	1.4 二点透視図法を使った立体的な空間表現(陰影、斜面、曲面含)	<ul style="list-style-type: none"> 最後まで取り組み完成できる 	自己評価表
課題③, 課題④提出			課題③, 課題④の点数
第 2 章 デザイン			
7	2.1 基本的な色彩	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な色彩の配色ができ、配色により様々な感じのあることを知る 	課題⑤
8			課題⑥
9	2.2 基本的な構成	<ul style="list-style-type: none"> 調和、均整、律動、漸増等の構成を知り表現の無限性を楽しむことができる トナリカラーの切る、貼るが丁寧にできる 	自己評価表
課題⑤, 課題⑥提出			課題⑤, 課題⑥の点数
2.3 専門工学の意匠			
10	・ 専門工学のイメージ探りとアイデアスケッチ	<ul style="list-style-type: none"> 専門工学のイメージを言葉で表現できる 専門工学のイメージを絵で表現できる 言葉や絵を自由に変化させ、エーグな形を見つけようと試みるができる 形の単純化を楽しむことができる 	課題⑦ 自己評価表
11	2.4 マークデザインと		課題⑧
12	Tシャツデザイン	<ul style="list-style-type: none"> トレードマーク形を創り出す楽しさを味わうことができる イメージに合う色彩を見つけ完成することができる 	課題⑨ 自己評価表
課題⑦, 課題⑧, 課題⑨提出			課題⑦, ⑧, ⑨の点数
第 3 章			
13	3.1 現代美術の展覧会を観る	<ul style="list-style-type: none"> 新しい表現の美術作品に触れ、好きな作品の感想を記述することができる 	課題⑩ 終了の感想表
課題⑩提出			課題⑩の点数
履修上の注意	課題作品及び演習プリントの提出期限を厳守すること		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	表現の手掛かりとなる資料は教員の方で適宜準備する		
自学上の注意	所属する専門工学と美術の関わりを考える		
関連科目	数学, 製図, 建築, 環境		
総合評価	中間, 期末試験及び再試験は実施せず, 授業での課題 10 作品の評価とする 課題 10 (課題作品 9, 鑑賞レポート 1) X 10 点の 100 点とし 総合評価 60 点以上を合格とする		【総合評価】 点